

参考様式1

## 農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)事業実施計画

計画主体名	計画期間
いしかわけん かまち 石川県 志賀町	令和3年～令和5年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
農林水産課	0767-32-1111	0767-32-3978	<a href="mailto:nourin@town.shika.lg.jp">nourin@town.shika.lg.jp</a>

【記入要領】

- 計画主体名
- ・市町村名にはふりがなをふること。
  - ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。
- 計画期間
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。
- 連絡先
- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。
- メールアドレス
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	<p>志賀町で生産されている「さつまいも」、「かぼちゃ」等を、国内大手製パンメーカーのサプライチェーンの一端を担う企業と連携し、加工による販路拡大や付加価値の向上、知名度の向上を図るとともに、農業者の所得向上を目的としている。また、当該農産物の生産地に近い場所で加工施設を新設し、生産コストの低減と販売額の増加、地区内の雇用の創出により地域活性化を図る。</p> <p>なお、当該施設は、活性化計画区域が有する能登の豊かな風土を活かして生産される農産物を加工する施設であり、原料調達面で地元農業者やJAと連携することで当該地域への所得向上や雇用の創出に寄与し、「さつまいも」、「かぼちゃ」の新たな活用方法を広めるために必要な施設である。</p>

## II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標の算出方法			
	具体的数値目標			
雇用者数(新規就農者等を含む)の増加	新規常時雇用者数 4人 = (活性化計画により整備した施設における常時雇用者数 4人【目標値】 - 既存施設等の常時雇用者数 0人【現状値】)			
第1評価指標の設定根拠				
活性化計画区域内で「さつまいも」、「かぼちゃ」等の栽培・加工に取り組む事業者の雇用者数をもとに、加工施設整備により増加が見込める雇用者数の予測をもとに設定した。				
【計画期間前の事業者の雇用者数】 (単位:人)				
活性化区域内に現存する事業者の雇用者数	平成30年	令和元年	令和2年	3ヵ年平均
■■■■■(株)	0	0	0	0.0
【当該施設整備による事業効果発現後の事業者の雇用者数】 (単位:人)				
事業効果発現後の事業者の雇用者数	令和5年	令和6年	令和7年	3ヵ年平均
■■■■■(株)	4	4	4	4.0

第2評価指標(任意)	具体的数値目標				具体的数値目標の算出方法
	地域産物の販売額の増加	3,788千円増			
第2評価指標の設定根拠					
活性化計画区域内で整備する加工施設で原料として使用する地域産物の「さつまいも」の調達額をもとに、加工施設整備により増加が見込める地域産物の販売額の予測をもとに設定した。					
【計画期間前の地域産物の販売額】					(単位:千円)
活性化区域内に現存する地域産物の販売額		平成30年	令和元年	令和2年	3ヵ年平均
加工施設向け「さつまいも」		0	0	0	0
【当該施設整備による事業効果発現後の地域産物の販売額】					(単位:千円)
事業効果発現後の地域産物の販売額		令和5年	令和6年	令和7年	3ヵ年平均
加工施設向け「さつまいも」		2,488	3,563	5,313	3,788

第3評価指標(必須)	具体的数値目標				具体的数値目標の算出方法
	1次加工品の販売額の増加	31,800千円増			
第3評価指標の設定根拠					
活性化計画区域内で整備する加工施設で地域産物を原料として生産した1次加工品の販売額とし、加工施設整備により評価期間中の販売額を設定した。					
【計画期間前の1次加工品の販売額】					(単位:千円)
活性化区域内に現存する地域産物の販売額		平成30年	令和元年	令和2年	3ヵ年平均
1次加工品(ペースト、カット製品)		0	0	0	0
【当該施設整備による1次加工品の販売額】					(単位:千円)
活性化区域内に現存する地域産物の販売額		令和5年	令和6年	令和7年	3ヵ年平均
1次加工品(ペースト、カット製品)		21,200	31,800	42,400	31,800
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)		評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)			
令和5年4月～令和8年3月		令和8年度			

### Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
農林水産物処理 加工施設	志賀町地区	農産物処理加工 施設 処理加工施設 集出荷貯蔵施設	加工工場棟 1棟 S造平屋 延床面積 825㎡	令和3年度 ～ 令和4年度	■■■■■■■(株)	237,206	99,795	1/2	99,795	当該事業は、能登地域の特産である「さつまいも」、「かぼちゃ」等を国内大手製パンメーカーのサプライチェーンの一端を担う企業と連携し、加工による販路拡大や付加価値の向上、知名度の向上を図り、農業者の所得向上を目指すための拠点施設として整備するものであり、また、当該農産物の生産地に近い場所で加工施設を新設することで、生産コストの低減と就業の場の創出、雇用の増大による地域経済への活性化が見込まれる。	当該施設は、活性化計画区域が有する能登の豊かな風土を活かして生産される農産物を加工する施設であり、当該地域への所得向上や雇用の創出に寄与し、能登地域の特産である「さつまいも」、「かぼちゃ」の新たな活用方法を広めるために必要な施設である。
			合 計			237,206	99,795		99,795		

#### 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
  - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
  - ・事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記入すること。
  - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
  - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
  - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
  - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
  - ・「農泊推進対策」で実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

## IV 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
中山間地農業ルネッサンス事業 地域別農業振興計画	農林水産物処理加工 施設	志賀町	地域別農業振興計画に、「地域の特色を活かした農業の展開」の中で企業の農業参入・新規就農者育成や経営の多角化・複合化、また、「都市農村交流や農村への移住・定住」の取組方針が示されている。
志賀町国土強靱化地域計画			農林水産業の従事者が減少していることから、新たに農林水産業に従事する者や参入する企業などの意欲のある多様な担い手の確保、育成を図り、平時においても食料の安定供給に備えることが示されている。

### 【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。









